まちを想う、仲間とつなぐ　ゆめこらぼの広報誌

ゆめこらぼ通信

vol.87
2026

ゆめこらぼ PEOPLE

西東京おやじの会連絡会「おやじの木」
共同代表　吉田　聡さん

西東京市で、地域の子どもたちのために活動する父親たちのネットワーク「おやじの木」が静かに、しかし力強く根を広げています。これまで各小中学校単位で独立して活動していた「おやじの会」が、互いに連携することで何が生まれるのか。情報と知恵を共有し、学校の垣根を越えて地域全体を盛り上げようとする父親たちの情熱と、その活動がもたらす新たな可能性をお話しいただきました。

「おやじの木」誕生の背景
―「横の繋がり」を求めて

「おやじの木」設立の背景には、どのような課題意識があったのでしょうか？

ー吉田さん　設立前、市内の各小中学校にある「おやじの会」は、それぞれが独自の活動を行っていましたが、互いに情報交換する機会がほとんどありませんでした。他の学校の成功事例や運営の悩みを共有する場がなかったのです。中心メンバーの一人が、かつて広域ネットワークでの情報交換の有効性を実感していた経験から、「西東京市内のおやじの会でも横の繋がりを作れば、各会がもっと活性化するはずだ」という確信が生まれ、ネットワーク構築へと動きました。

ゆめこらぼ INFO

2月7日（土）ゆめこらぼ市民協働フェスティバル開催

西東京市を支えるNPO、市民団体、企業が集結する「ゆめフェス」（旧Nフェス）を今年も開催します！このイベントの主役は、地域を彩る「活動団体」と、そこで暮らす「あなた」です。

「何か力になりたい」人と「仲間を探している」団体がつながり、新しい活力が生まれる場所。旧「Nフェス」から続くこの輪を、今年はさらに広げていきます。

- であう：パネル展示や交流ブースで、地域の活動を身近に。
- たのしむ：ワークショップ、飲食、ステージで大人も子どもも笑顔に。
- つながる：「地元推し」が、あなたと地域の新しい絆になります。

予約不要・入場自由。ふらっと立ち寄るだけで、西東京がもっと好きになる出会いがあるはずです。

- **日時　2026年2月7日（土）十時半～十六時**
- **場　所　ONE FOR ALL西東京1階・4階（西東京市民文化プラザ）**

2月23日（月・祝）自治会・町内会×NPOパワーアップ講座開催

自治会・町内会・NPO・市民団体向けに**「なぜあの団体に人が集まるのか！？　～東京おもちゃ美術館から学ぶ参加のデザイン～」**を開催します。年間述べ1万人のボランティアのチカラが集まる東京おもちゃ美術館・山田館長を講師に迎え、実例をもとに人が集まる「参加のデザイン」を学びます。また、後半は、自分たちの仲間づくりのための実践的なワークショップも予定。

詳細は後日公開される、ゆめこらぼのホームページ、または市報やチラシ等でご確認ください。

3月8日（日）まちづくり円卓会議開催

地域課題の解決に向け、関係者が集まり知恵を出し合う「円卓会議」。今回は、「男性のがんサバイバーの居場所が近くにない」という切実な声から「男性がんサバイバーの地域でのつながり方」というタイトルで男性のがん経験者が安心して集える居場所や、コミュニティなどについて考えます。

詳細は後日公開される、ゆめこらぼのホームページ、または市報やチラシ等でご確認ください。

「ゆめこらぼ」とは？

「ゆめこらぼ」は、西東京市の市民活動を応援するサポート拠点です！
地域の課題を解決したい市民や団体、企業、行政をつなぎ、新しいまちづくりの形を応援します。「活動を始めたい」という相談から、実践的なスキルアップ講座まで幅広く実施中。サロンでの打ち合わせはもちろん、印刷機や紙折り機、ラミネーターなどの便利な機器も充実しています。会報やチラシ作りなど、日々の活動にぜひお役立てください。

まちを想う、仲間とつなぐ
ゆめこらぼ
西東京市市民協働推進センター

〒188-0012　西東京市南町5-6-18　イングビル1階
（西武新宿線「田無駅」南口　徒歩2分）
TEL：042-497-6950 / FAX：042-497-6951
email：info@yumecollabo.jp
http://www.yumecollabo.jp
開館時間：月～土 10:00～19:00
休館日　：日曜日・祝日・年末年始（12/28～1/3）

ネットワーク構築はどのように具体化し、「おやじの木」という名称はどのように決まったのですか？

ー吉田さん　構想は2021年に有志5人が集まって具体的に動き出し、同年10月には市内のおやじの会向けに説明会を開催しました。この呼びかけに9つのおやじの会が応じ、連携の第一歩が踏み出されました。正式名称は「西東京おやじの会連絡会」ですが、その「おやじの木」は、「自分たちはその木陰に座ることはないとわかっていても、年老いた人たちが将来の世代のために木を植えるような社会は、やがて大きく栄える」というギリシャの古い諺の一節に由来します。また、この名称は参加メンバーから公募し、投票によって決定されたもので、団体の協調的な性質も象徴しています。

活動の核 ― 知恵と資源の共有による地域貢献

「おやじの木」が具体的に行っている活動の中で、特に力を入れているものは何ですか？

ー吉田さん　単なる情報交換にとどまらず、共有された知恵と資源を活かした具体的なアクションに力を入れています。「ガチコンペ」という、各おやじの会からイベント企画を募集し、公開プレゼンテーションを経て活動資金を助成する取り組みです。審査の公平性を保つため、西東京市外の「おやじ」を審査員に依頼しているのが特徴です。

「ガチコンペ」で採択された企画には、どのようなものがありますか？

ー吉田さん　以下の3企画が採択されました。

①南町での祭り参加に参加し、地域イベントとの連携を深めました。

②中学生が企画・運営を委ね「逃走中」を実施したことにより、普段学校では目立たない生徒が中心的な役割を果たし、隠れた才能を開花させる力強い証拠となりました。

③MUFGパークでの餅つき大会を実施し、多くの住民との交流を創出しました。

学校の枠を越えて ― 地域に根差す父親たちのネットワーク

ネットワークの持続性を支える仕組みや、参加する父親たちにどのような変化がありましたか？

ー吉田さん　最も象徴的なのがOBの存在です。子どもが卒業した後も活動を続けるメンバーは少なくなく、驚くべき事に、事務局メンバーは全員がOBで構成されています。この活動が単なる奉仕を越え、父親たち自身の生きがいや、世代を越えた地域コミュニティとなっている証拠です。また、活動を継続できる背景には、家族の理解が不可欠であり、当たり前ですが家族・家庭が最優先で、その上でおやじの会の活動があるという考えです。

未来への展望 ― 「全国おやじサミット」を西東京で開催

「おやじの木」の現在の最大の目標は何ですか？

ー吉田さん　地域での活動を重ねた集大成として、2026年11月22日(日)に西東京市で「全国おやじサミット」を主催することが決定しました。これは全国の父親たちが集い、父親のあり方や地域との関わりについて学び、交流する貴重な機会となりますので、来年の「全国おやじサミット」には、まだ見ぬお父さん達もぜひ、ご参加ください。

「おやじの木」は、知恵を共有し高め合うネットワーク。世代を超えた父親の繋がりが、子の成長を支え地域を活性化しています。合言葉「おやじ最高」に込められた「おやじ力」の無限の可能性とその活動に注目です。

ゆめこらぼ HINT!

市民活動のための「寄付・資金調達」サポート

認定ファンドレイザーが団体の成長を支援

市民活動センター「ゆめこらぼ」には、2名の認定ファンドレイザー（小松・若尾）が在籍しています。私たちは、市民活動の立ち上げから、継続的な運営に欠かせないガバナンスの整備、広報PR、そして資金調達まで、幅広くご相談に応じています。

ビジョンとミッションの再確認

「活動資金を確保するためにクラウドファンディングをしたい」「助成金を申請したい」と考えることは、活動継続のために非常に重要です。　しかし、ゆめこらぼでは、手法を検討する前に「なぜその資金が必要なのか」「なぜ今なのか」という、団体の核となるビジョン（将来像）とミッション（使命）をメンバー全員で見つめ直すことをお勧めしています。核となるメンバーの想いが一致し、「今、この支援が必要だ」という確信が持てたとき、私たちは全力でその一歩を後押しします。

寄付者との信頼関係の構築

寄付をいただいて「うれしい」で終わらせてはいけません。大切なのは、寄付者の方へ感謝を伝え、その寄付金がどのように社会を変えたのかを誠実に報告することです。　寄付者に「この団体を応援してよかった」という安心感を持っていただくことが、次の寄付や新しい支援へとつながる良き循環を生み出します。

持続可能な団体運営へアドバイス

団体の特色を生かした資金調達の設計や、社会から信頼される組織づくりなど、専門的な視点からアドバイスを行います。「想い」を形にし、活動を長く続けていくためのポイントを、認定ファンドレイザーと一緒に考えてみませんか？

【ご相談・お問合せ】

市民活動の継続や資金調達に関するお悩みは、いつでもお気軽に「ゆめこらぼ」までご連絡ください。

担当　ゆめこらぼ 小松・若尾

開催報告

わかりやすい、遺贈寄付講座

～よりよい地域づくりをねがい、思いを託す～

2025年7月26日、イングビルにて「わかりやすい『遺贈寄付講座』」を開催しました。講師には、特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえのディレクターであり、全国レガシー協会事務局次長の渋谷雅人氏をお迎えし、自治体・社協職員、市民活動団体など多くの方にご参加いただきました。

講座では、遺贈寄付の基礎知識から。実際に遺贈寄付を準備された方のストーリー、寄贈先選定の考え方まで、具体的な事例を交えてお話しいただきました。参加者の皆さんは、真剣な眼差しで聞き入り、質疑応答では、自身の家族のことや、所属団体が受取先になるための実務的な質問が相次ぐなど、関心の高さがうかがえました。

アンケートでは「遺贈寄付の基本を学べてよかった」「寄付する側・される側の話が聞けて良かった」などの声が寄せられ、「寄付する側・される側」の両者にとって、地域の未来を考える貴重な学びの場となりました。